



普通高等教育“十一五”国家级规划教材
21世纪高职高专旅游管理专业系列教材

(第二版)

Japanese for Tour Guide

导游日语



- 主 编 仇均世
- 副主编 韦登山
李传坤
- 审 定 瀧澤哲



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社



普通高等教育“十一五”国家级规划教材
21世纪高职高专旅游管理专业系列教材

(第二版)

Japanese for Tour Guide

导游日语



主 编 仇均世

副主编 韦登山

李传坤

审 定 瀧澤哲



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

导游日语/仇均世主编; 韦登山, 李传坤副主编; 瀧澤哲审定。
—2 版. —武汉: 武汉大学出版社, 2009. 8
普通高等教育“十一五”国家级规划教材
21 世纪高职高专旅游管理专业系列教材
ISBN 978-7-307-07189-6

I. 导… II. ①仇… ②韦… ③李… ④瀧… III. 导游—日语
—高等学校:技术学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 123057 号

责任编辑:王春阁 责任校对:王 建 版式设计:马 佳

出版发行: 武汉大学出版社 (430072 武昌 珞珈山)
(电子邮件: cbs22@whu.edu.cn 网址: www.wdp.com.cn)

印刷:武汉中科兴业印务有限公司
开本: 720 × 1000 1/16 印张: 20.25 字数: 337 千字 插页: 1
版次: 2005 年 9 第 1 版 2009 年 8 月第 2 版
2009 年 8 月第 2 版第 1 次印刷
ISBN 978-7-307-07189-6/H · 659 定价: 32.00 元(含 MP3 光盘)

版权所有, 不得翻印; 凡购我社的图书, 如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请与当地图书销售部门联系调换。

21世纪高职高专旅游管理专业系列教材

编 委 会 (按姓氏笔画排列)

主任	李丰生	谢 苏	彭 薄
副主任	李肇荣	罗兹伯	
	周 昕	范运铭	
成 员	张 琥	佟 蔚	
	陈学清	饶莉啦	
	舒 晶	魏 群	

总序

旅游是一种愉快而美好的活动，是人类社会生活的一项重要内容。随着我国旅游业的迅速发展，旅游在社会经济生活中的作用和影响越来越大，旅游院校的旅游教育与研究也在长足发展，并且为旅游业的各个部门培养输送了大批的专业人才。我国的旅游高等职业教育有别于传统的旅游高等普通教育模式，更突出旅游人才规模的专业技能性和岗位指向性，着力于体现旅游专业设置的职业性、教学内容的实用性，强调教学主体的“双元化”即旅游产业部门和教育部门的有效合作、教师队伍的“双师身份”和完备的实训手段。然而，目前各地虽然已出版了一批高职高专旅游专业教材，但从整体上看，旅游高等职业教育的教材建设仍然满足不了旅游形势和旅游高职高专教育发展的需要。

武汉大学出版社策划的丛书“21世纪高职高专旅游管理专业系列教材”，是按照教育部关于《高职高专教育基础课程教学基本要求》和《高职高专教育专业人才培养目标及规格》的要求，为了适应当今蓬勃发展的旅游高职高专教育的需要，覆盖了旅游高职高专教育的基础课程和专业主干课程，充分体现高职高专培养旅游人才的特点、目标及特色而出版的教材。全套丛书由桂林旅游高等专科学校等拥有雄厚旅游管理专业师资队伍以及较高教学水平的十几所高职高专院校共同参与编写，作者均是从事旅游教学和研究的中青年学者，有的在国外做过研究和学习，有更好的机会了解国内外的情况，使用最新资料和例证，能反映旅游业的最新动态。全套丛书共计14册，此套丛书内容精炼，符合高职高专旅游专业教学目的、教学内容深度和

广度的要求，实用性强，紧扣高职高专教育培养人才的实用性特点，注重可操作性。

我们期望本套教材的出版，能为旅游高职高专的教材建设尽微薄之力，更好地为广大旅游高职高专院校的师生服务。

桂林旅游高等专科学校 校长：

李丰生

第二版说明

《导游日语》自2005年出版以来，得到了各院校师生及其他读者的好评。2006年被评为广西高校优秀教材，2008年被列为普通高等教育“十一五”国家级规划教材。使用本教材的老师都认为其中的例句特别是导游实例部分有着很强的实用性和针对性。学生们也反映「知つておく言葉」「関連表現」「ガイド案内実例」等内容容易读易记，地道实用。因此，本次修订加大了这方面的分量，增加了导游实例（即由原来的每课一例增加到每课三例），同时扩充了与导游内容相关的翻译练习题量。此外，还补充了部分景点的日文解说词。

在这次修订过程中，得到了武山克彦、山添彰映、一之瀬勝弘等三位日本外教的大力帮助，在此深表谢意。

由于编者水平有限，加上时间仓促，修订后的本教材难免出现不足之处，诚望各位读者批评指正。

主编 仇均世

2009年6月

前　　言

本书由实战篇、知识篇和附录三部分构成。

实战篇共九课，以食、住、行、游、购、娱等内容为主。每课先对课文内容进行解说，然后以会话形式再现情景，有理论解说、实际情景会话，以理论结合实际进行模拟导游。此外，每课后面加入一些在导游实践中总结出来的常用词语和句子，以中日文对照形式供读者参考使用。为了帮助读者消化吸收本课内容而设计了相应的填空题、填词选择题和翻译，并附有参考答案。

知识篇以扩展导游知识面为主，配合实战篇使用，让学生学到更多的导游实用性知识。本篇由中日文对照的导游规范与应变能力问答题、全国著名旅游景点的日文解说词、日文版的中国风土人情和日本风土人情这四大部分构成。在导游规范与应变能力问答题中，整理编入了适量的常见问题，有问有答，实用性较强。通过这一章节的学习，使学生掌握导游规范常识，学会处理导游过程中出现的问题，提高导游技巧。全国著名旅游景点的日文解说词旨在帮助学生提高阅读能力、熟悉不同类型旅游景点的同时，让学生参照范文写出有自己特色的导游词，一举两得。中国风土人情和日本风土人情这两部分，用日文写的是目的是在使学生了解中日两国文化的同时，帮助学生在文化交流过程中，提高这方面的语言表达能力。

本书的主编、副主编有着近 20 年的日语导游实践经验，把自己的实际经验汇编成书，实用性较强，另有参编者苏雁、于晓霞、李传坤、武山真彦和安延正等 5 位老师也具有丰富的实践知识。无论是导游知识方面，还是日语导游措辞方面，本书均贴近实际，有参考价值。本书适用于旅游日语专业的导游日语课程，对在职日语导游人员和有志从事日语导游工作的人员也是一本很好的自学参考书籍。

本教材从日语语言角度来说有一定的深度。主编的旨意是掌握了这本书

的内容，就能做一名日语导游员，能够独立接团。所以，建议开设日语导游专业课程的班级，一年级安排基础日语课程，到二年级再使用本教材。

全书在编写过程中，由于时间和水平有限，纰漏和错误在所难免，恳请读者提出宝贵意见。

编 者



『水墨画の世界桂林四日間の旅』

——主な登場人物——

李凱堂 28歳

「ガイド歴5年、桂林の現地ガイド」

桂林国際旅行社日本部勤務

明朗活発な人気ガイド



中村あゆみ 23歳

「新米日本側添乗員」

JTS 東京支店団体旅行部中国課勤務

大学出たての新人添乗員



田中義則 50歳

「ツアーリーダー」

大手企業部長

落ち着いた人柄、中国初訪問



徳永洋一 62歳

「ツアーゲスト」

自営業 土木建築業

おおざっぱな性格、3回目の訪中



伊藤雅代 44歳

「ツアーゲスト」

主婦 町内会副会長

口うるさい奥さん、2回目の訪中

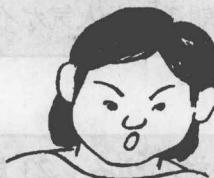


鈴木豊子 38歳

「ツアーゲスト」

主婦 パート職員

朗らかな奥さん、中国初訪問



目 录

「水墨画の世界桂林四日間の旅」主な登場人物	1
第一章 実践編.....	1
第1課 ガイドの言葉遣い.....	3
第2課 お出迎え	14
第3課 車内案内	26
第4課 観光名所案内	38
第5課 ショッピング	50
第6課 食事の案内	63
第7課 エンターテインメント	76
第8課 友好交流	90
第9課 イレギュラー対応.....	101
第二章 知識編.....	113
一、ガイド規範 & 臨機応変能力	115
(一) 导游规范 (ガイド規範)	115
(二) 应变能力 (臨機応変能力)	131
二、観光名所の説明.....	147
1. 万里の長城	147
2. 北京故宮	149
3. 上海外灘 (ワイヤン)	153
4. 上海豫園	155
5. 蘇州庭園	160
6. 杭州西湖	163
7. 中山記念堂 (広州)	168

8. 广州越秀公园	169
9. 桂林山水	170
10. 昆明石林	174
11. 武汉	176
12. 九寨沟	181
13. 秦始皇帝陵与兵马俑	183
14. 黄山	186
15. シルクロード	190
16. 海南岛	194
17. 长江三峡	197
三、中国的风土人情	201
四、日本的风土人情	213
 附录 参考译文	225
一、课文参考译文	227
第1课 导游的语言措辞	227
第2课 迎接	230
第3课 车内导游	234
第4课 景点导游	237
第5课 购物导游	241
第6课 餐饮导游	245
第7课 娱乐导游	248
第8课 友好交流	252
第9课 意外情况的处理	256
二、练习问题参考译文	260
三、观光地解说词参考译文	267
1. 万里长城	267
2. 北京故宫	268
3. 上海外滩	271
4. 上海豫园	273
5. 苏州园林	277
6. 杭州西湖	279

7. 中山纪念堂（广州）	283
8. 广州越秀公园	284
9. 桂林山水	284
10. 昆明石林	287
11. 武汉	289
12. 九寨沟	292
13. 秦始皇陵与兵马俑	294
14. 黄山	296
15. 丝绸之路	299
16. 海南岛	302
17. 长江三峡	304
主要参考书目	308



第一章

実践編



第1課 ガイドの言葉遣い

本 文



言葉は意思を相手に伝えるだけでなく、その人柄まで感じさせます。ガイドの言葉遣いによってお客様の評価も変わりますので、仕事中は正しい言葉遣いをすることが大切です。

日本ではサービス業などで敬語がよく使われています。敬語の種類は、尊敬語・謙譲語・丁寧語などがあり、状況や相手により使い分ける必要があります。しかし、間違った使い方や丁寧すぎる使い方をして、お客様の失笑を買ってしまうこともあります。正確に敬語を使い分けることはとても難しいです。しかし、実践の場では形式的な敬語が使えば、あとは基本的な「です」「ます」調の丁寧語で十分です。

お客様と接する中では、出迎えの挨拶、そして、お別れの挨拶など改まった感じの時には、尊敬語、謙譲語を使うと評価があがります。この挨拶は形式的ですので、文例を暗記しておいて活用すればよいでしょう。

では、実際にお客様をご案内する時には、どのようなことを心がければよいのでしょうか。まず、言葉に心がこもっていないなければなりません。テープレコーダーのような話し方はよくありません。文章から得た知識でも、それを丸暗記して話すのではなく、自分の言葉として消化し、話すようにしてください。常に要領よく、分かりやすい言葉で話します。お客様の反応を見ながら話し、お客様の関心を引き寄せるように工夫します。また、お客様が話されている時には真剣に耳を傾け、興味のない話でも誠意をもって聞くことが必要です。

一方、言ってはいけないことは、自分の会社や人の悪口、お客様の噂話